

成功のキーワードは、諦めないことです。



インターリテラシー 代表取締役

杉山大輔
Daisuke Sugiyama

カーコンビニ倶楽部 代表取締役社長

林成治
Seiji Hayashi

オピニオンリーダーたちに哲学や信条をインタビューするシリーズ「私の哲学」をネットで発信し、大きな話題を集めているインターリテラシー代表取締役で「私の哲学」編集長でもある杉山大輔さんが、アフターカー・マーケットで旋風を巻き起こしているカーコンビニ倶楽部の林成治社長の哲学や信念に興味を抱き、対談が実現。2人が熱く語り合いました。



写真撮影：「朋-TOMO-」

り切り、初年度から一気に黒字にして、そのままずっと来てる。そのときに、もし、お金がもつたないからと見舞金を渡さなかったら、加盟店の方々があれほど協力してくれることはなかったでしょうね。

杉山 林さんは、あるインタビュー記事の中で、「会社の経営は、経営者の人間性がそのまま表れる」とおっしゃっていました。見舞金のお話も人間性が表れていると思いま

ピンチを跳ね返すメンタルの強さが大事！

杉山 林さんは、あるインタビュー記事の中で、「会社の経営は、経営者の人間性がそのまま表れる」とおっしゃっていました。見舞金のお話も人間性が表れていると思いま

杉山 オピニオンリーダーの方々に共通しているのは、できないこと”に果敢に挑戦する気概があることです。その中の1人は、「経営者は野獣たれ！」と話しました。そういう経営者は、リスクを取ることを恐れない人なんですよね。

林 その心構え、いいですね(笑)。

杉山 林さんもそういう経営者の雰囲気が出ている。

林 私は、カーコンビニ倶楽部を買収する際に、商社と競合しました。「個人が大商社と戦っても勝ち目はない。やめた方がいい」と周りのみんなに言われながら、カーコンビニ倶楽部の全株を取得して、オーナー社長になった。これって、今から思うと、カーコンビニ倶楽部を個人で所有することが、運命として決まっていたんじゃないかと思うんです。

杉山 それまでの人生は、そこに行き着くためにあったというわけですね。毎年ひどい赤字を生み出していたカーコンビニ倶楽部を林さんはわざ



杉山大輔

1979年東京生まれ。インターリテラシー代表取締役。3～15歳をアメリカ・ニューヨークで過ごし、慶應義塾大学大学院経営管理研究科を修了後、MBAを取得。大学1年生の時に教育コンサルティング会社を立ち上げ、'07年に、マーケティング・コンサルティングなどを行う会社、インターリテラシーを設立。本業の傍ら、企業や大学で講演を行う他、執筆活動にも力を注いでいる。著書は、『行動する勇気』『運を動かせ』など。

ち上げて活動しているのですが、ボディビルダーのように体を鍛えるには、メンタルの強さが必要なんです。途中で、しんどいからもうやめようと思わないメンタルの強さがあるからこそ、フィジカルトレーニングが継続できる。トップアスリートは、単にフィジカルの強さだけじゃなくて、メンタルの強さがあるから、色々困難を乗り越えてそこにいけるんです。

杉山 本当にそうですね。マイク・タイソンが引退した後、「僕は、毎回試合をするのが怖かった」って言うんです。ボクシングの勝敗のカギを握るのは9割はメンタルで、激しいトレーニングで自分を追い込むのは、恐怖を乗り越えるためでもあるわけですね。それを実際に、諦めずにできる人だけが世界を取れるんです。

林 その通りで、成功のキーワードは、「諦めないこと」

だと思いませんね。でも、成功と無縁の人は、それだけで成功するわけないと思ってしまう。もつとうまい道があるはずだと。でも、結局はそれしかない。

杉山 全国で美容室のフランチャイズ展開をされている、Earthの國分利治社長を以前インタビューしたことがあり、彼は、「物事は〇と×しかない」って言うのです。つまり、「やるか、やらないか」だけだと。諦めずに10年間必死で同じことやっていると、その分野のスペシャリストになれるかもしれないですね。

林 諦めた瞬間に、成功の可能性はゼロになってしまふ。何が何でも諦めないという、強い精神力を育むことが、ビジネスにしろ、何にしろ、大切なことです。

※クルマニストとは、クルマを愛する人のこと